

青い森鉄道利活用アクション事業

業務完了報告書

青い森鉄道利活用アクション事業

「青い森鉄道 ワンデー・スペシャル
シル！ミル！ふれる！飛行機の街 みさわ」

平成22年3月

特定非営利活動法人 マン・パワー

目 次

はじめに	1
第一章 青い森鉄道利活用事業実施までの経緯	
1. 事業の目的	2
2. 体験ルートの発掘から実施に至るまでの検討事項	2
3. 事業の広告、宣伝	7
4. 事業を通しての連携	7
5. 輸送手段	7
第二章 事業実施状況	
1. 実施日及び内容について	9
第三章 事業の検証	17
1) アンケート調査及び結果	
第四章 今回の事業をふまえた展開	18
資料編	20

はじめに

私たちは、航空自衛隊退職者と市民賛同者（三沢市及び周辺居住者）により平成17年に設立したNPO法人です。

三沢市及び周辺住民に対し福祉の増進・住環境の整備・安全活動及び雇用の機会を拡充し、豊かな地域社会の形成と三沢市の活性化を目的に活動しております。

設立当初より小学校児童の登下校時安全確保のために、学校パトロールを行っており、その活動が認められ三沢市警察署から表彰を受けました。

また、平成18年より三沢市の指定管理を受託し、三沢市大町駐車場管理運営者（平成18年4月～21年3月）として、日米フリーマーケット・ふれあいジャズコンサート等を行い、市民はもとより日米のコミュニティー交流に努めております。

今年度は、三沢市民の森・三沢市総合運動場管理運営者（平成21年4月～）として、様々な市民交流イベントを企画し、その一つである趣味の家自主事業「家族で夏休み陶芸教室」は、キャンセル待ちがでるほどの大盛況でした。

その他に、三沢市活性化事業「花いっぱい運動」に参加し、NPO会員と市内の中学・高校生ボランティア及び市内事業所職員と共に三沢空港通りにコスモスを植栽し、環境整備を行いました。この活動を通じ、年齢問わない参加者同士の交流を重ね、市活性化に積極的に取り組んでおります。

今回の青い森鉄道利活用アクション事業をきっかけに、青い森鉄道利用者拡大と三沢市活性化のためにマン・パワーの団結力と行動力を活かしていきたいと考えます。

NPO 法人マン・パワー



第一章 青い森鉄道利活用事業実施までの経緯

1. 事業の目的（事業趣旨及びねらい）

「戦後アメリカの駐留により、急速に発展したまち、三沢市」

世界初の太平洋無着陸横断飛行をなし遂げたミス・ビードル号がきっかけとなったアメリカ合衆国ワシントン州ウェナッチ市・東ウェナッチ市との姉妹都市交流や、アメリカンデー、国際サマーフェスティバルや航空祭など、数々の三沢らしいイベントが毎年開催されています。

（三沢市役所HPより一部抜粋）



三沢基地は東北唯一の米軍基地であり、国際色豊かなまち「三沢」の地域の特性を活かし、他市町村では味わうことが出来ないアメリカの様々な文化の体験を今回の青い森鉄道利活用アクション事業として、企画運営しボランティアスタッフの活動力を高め、絆を深めたいと考えて実施しました。さらに今後、鉄道を利用し参加できる継続性の高い事業として発展出来る、新たな「種」を今回の事業を通し発掘し、地域におけるマイルール意識の醸成を図りたいと考えております。

三沢基地敷地内には、アメリカ軍と航空自衛隊が共存しており、航空自衛隊の見学等のチャンスもあります。

“みさわ”での体験は

- ・三沢市以外の方にとっても「日本にあるアメリカ」を体験できるチャンス！
- ・日本国内で生活する私たち日本人。特に子供たちにとり、日本人以外との交流や異文化体験は、見聞を広め、将来に対する夢や希望そして期待の想像力を高めることと思ひ、成長していく上でのすばらしい体験になる。
- ・カルチャー体験・食文化体験・ラングエージ体験・米軍人とその家族との交流等々
- ・航空自衛隊三沢基地において、喫食体験（隊員食堂）・格納庫見学・隊員の仕事・戦闘機見学等

今回の事業を企画運営するに際し、日米の三沢基地コミュニティー交流や市内町内会等との連携を密にして準備を進め、この事業に参加した方々が楽しんで頂けるような内容にしました。

2. 体験ルートの発掘から実施に至るまでの検討状況

(1) 5月中旬「青い森鉄道利活用アクション事業」受託についてのミーティング

(2) 5月下旬 三沢の魅力発掘（キーワード）ミーティング

ア キーワード

みさわと言えば・・・

基地、米軍、アメリカ（人、言葉、文化 生活、食）、自衛隊、飛行機
自然、紙飛行機大会、楽しい、歴史、温泉、三沢市の食、異国情緒、ア
メリカンデー、ハローウィンパレード

各人課題を持ち帰り、キーワードを元にルートと内容を検討し次回の検
討事項とした。

(3) 6月4日、9日 ルート策定ミーティング及び基地入門許可について打診

三沢駅と観光ルートをつなぐルート策定

第1案 自然体験コース

三沢駅

↓ 三沢駅周辺 清掃ボランティア

三沢市民の森 総合運動場

趣味の家にて・・・陶芸体験

運動公園周辺・・・自然散策及びミニオリエンテーリング

乗馬体験

↓ 市民の森・・・温泉

青森県立三沢航空科学館 見学

↓

三沢駅 解散

第2案 日米交流体験コース

三沢駅

↓ 三沢駅周辺 清掃ボランティア

↓ misawa air base 訪問

アメリカ人家族との交流会（ガールスカウト等に協力依頼）

英会話ワンポイントレッスン・・・自己紹介にチャレンジ

high school 見学

アメリカ文化と日本文化交換（遊びを通して）

食文化体験・・・カフェテリアにて

アメリカンテイストにチャレンジ

三沢米軍基地外周

↓

三沢駅解散

第3案 日米交流体験コース

三沢駅・・・オープニングセレモニー

カントリーダンス（ライン）ダンス体験、フラダンス体験
の内1つ選択

misawa air base 見学

アメリカ人家族との交流会（ガールスカウト等に協力依頼）
米軍基地所属、軍人家族等とのゲームやメモリースタンプ作り

体当たり英会話体験・・・挨拶、自己紹介にチャレンジ

基地内レストラン体験・・・NCOクラブハッフェスタイル体験

（日米の食文化の違いを体験する）

三沢米軍基地内は、すべてバス移動

三沢駅解散

(4) 6月12日 ルート策定 ミーティング

6月4日、9日のミーティングで3案を挙げ、検討した結果、三沢市の特性や参加応募者の興味を引くには、「ルート策定 第3案」が適しているとし、メンバー全員一致で決定した。

(5) 6月15日 知人を通し、三沢米軍第35憲兵隊に打診

(6) 6月18日 基地入門に関して、事業概要や趣旨について文書提出を求められる。

(7) 6月22日 青い森鉄道利活用アクション事業説明会

現段階までのアクションプランを発表・・・事業案

(8) 6月23日 日程決定ミーティング

気候考慮し、10月までには実施する。

航空祭前後2週間は、避ける。

集客には日本の祭日が良いのではないか？（米軍は、通常業務）

基地内の協力団体依頼の件

（案）10月12日(祝日)に仮決定する。

夕方 入門許可申請結果について連絡が入る。

「不許可」

すべてふりだしに戻る

緊急ミーティング 「基地外での国際交流」を考える。

ルート再策定・・・基地外で楽しむ方法

日米交流、日程再検討

（平日の子供同士の交流は難しい。）

内容検討ミーティング

基地研修を除く、三沢を楽しむコースを検討

新第1案 語り部コース

三沢駅 駅構内の清掃



古牧温泉 青森屋



語り部馬車 乗車体験



会議室・・・三沢市の今と昔

徒 歩

カワヨグリーン牧場



牧場体験

ウッドクラフト体験



羊飼いのゴルフ

向山駅 解散

新第2案 日米交流体験コース

三沢駅



三沢駅周辺 清掃ボランティア



三沢市国際交流教育センター

アメリカ人家族との交流会

ワンポイントレッスン・・・自己紹介にチャレンジ

アメリカ文化と日本文化交換（遊びを通して）

調理室・・・「えいご de クッキング！」

アメリカ人の方に出身地の料理を教わります

参加者が各班に分かれて、一緒にクッキング

クラフト体験



washi-doll を一緒に作り、メッセージを添えて渡そう

三沢駅解散

※ 検討（希望意見）課題

- ・ 航空祭以外で三沢基地を見学できないか？
- ・ 航空自衛隊の「基地見学」の可能性はないか？
- ・ 米軍の施設は、直接見学できないかもしれないが、車窓から格納庫や飛行機を見ることは出来るのではないか？

(9) 6月24日 内容検討及び日程最終決定 ミーティング

航空自衛隊見学担当者に打診した結果、基地見学の可能性があるとの回答があった。

内容、日程の再検討・・・航空祭前後、土日は避ける。

- (10) 6月25日 内容検討ミーティング
- (11) 7月6日～ 事務局に事業計画書送信
「青い森鉄道 ワンデー・スペシャル
シル！ミル！ふれる！飛行機の街 みさわ」に決定
内容検討ミーティング
 - ・サルサ、ハワイアンダンスインストラクター探し
 - ・施設探し（アクティビティー体験施設）
候補 青森屋 三沢第五中学校体育館 駅前広場
市役所に相談→薬師町内会会館を紹介して頂いた
 - ・ルート検証
- (12) 7月25日 チラシ原案完成
- (13) 7月27日 広告打ち合わせ
- (14) 7月31日～宣伝方法検討ミーティング
チラシ配布エリア特定
広告見積書（8月3日）
- (15) 8月11日 新聞折り込みチラシ 青森市内
- (16) 8月12日 新聞折り込みチラシ 上十三地域
- (17) 8月21日 参加者募集締め切り
- (18) 8月23日 第二回参加者募集締め切り
イベントに使用する文具等の買い出し
- (19) 9月 1日 思い出パッチワークのメッセージカード作り（～12日まで）
- (20) 9月 2日 マンパワーパスポート用 ロゴマーク完成
～10日 ハワイアン アイランダーズに連絡
- (21) 9月 2日 マンパワーパスポート作成
- (22) 9月 3日 自衛隊地方連絡事務所に基地見学申請書を提出
お菓子袋詰め
- (23) 9月 4日 参加者全員に、ハガキ送付（集合時間等のお知らせ）
- (24) 9月 8日 式次第最終決定
- (25) 9月10日 駅通路及び駅前広場の借用書提出
- (26) 9月11日 薬師町内会館 借用書提出
基地見学申請書最終確認
- (27) 9月16日 実施日当日のスタッフと打ち合わせ
- (28) 9月17日 最終確認
- (29) 9月18日 「青い森鉄道 ワンデー・スペシャル
シル！ミル！ふれる！飛行機の街 みさわ」実施

3. 事業の広告・宣伝

新聞折り込み＝東奥日報、デーリー東北（青森市の一部、三沢市、八戸市、
おいらせ町の一部、岩手盛岡市、二戸市その他）

手配り＝下田駅、三沢駅、まちの駅はちのへ、三沢市商工会青年部、おいらせ
町商工会青年部、マン・パワー会員、菜の花保育園（おいらせ
町）

ポスター掲示＝三沢駅、下田駅、八戸駅

インターネット＝NPO 法人マン・パワーのホームページ

4. 事業を通しての連携

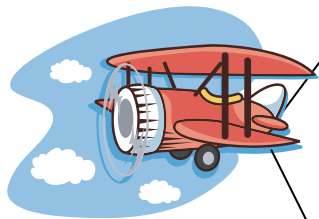
駅前広場及び通路について・・・駅通路等指定管理者 加澤商会
施設借用・・・薬師町内会
準備、撤去作業協力その他・・・三沢基地OB会、民芸 かねの
かねた旅館、寺下運輸、Vogue

5. 輸送手段

バス輸送・・・寺下運輸を手配
三沢駅から三沢基地・・・基地内移動・・・三沢駅



実際に使用したチラシとポスター



青い森鉄道
ワンデースペシャル

シル!ミル!ふれる!
飛行機の街 みさわ

参加者募集

締め切り 8月21日午前中必着(厳守)

平成21年9月18日(金曜日)

9:00(JR三沢駅集合)~16:00(JR三沢駅解散予定)

<主な内容>

■オープニングセレモニー(JR三沢駅前広場)

■シル!ミル!ふれる!三沢駅

*駅をきれいにしよう!...参加者でプランターに花を植え駅の通路に飾ります

*シル!ミル!三沢駅の今と昔

*メモリアルカードを作り、駅に思い出を残そう!

*消しゴムスタンプ作り

*MPパスポート配布...一日の出来事を書き込もう

■シル!ミル!ふれる!

航空自衛隊 三沢基地見学

格納庫や航空機見学

・自衛隊員の仕事を見てみよう!

米軍三沢基地1周(車窓から)

*昼食は、基地内クラブを予定
しています

昼食代は、個人負担(¥1000程度)です。

本事業は、県による「青い森鉄道利活用アクション事業」として実施しております

----- 参加申込書 (FaxかMailでお申し込み下さい。締め切り日厳守) -----

氏名		年齢	才
住所	〒	Tel	
氏名		年齢	才
住所	〒	Tel	
氏名		年齢	才
住所	〒	Tel	

問い合わせ

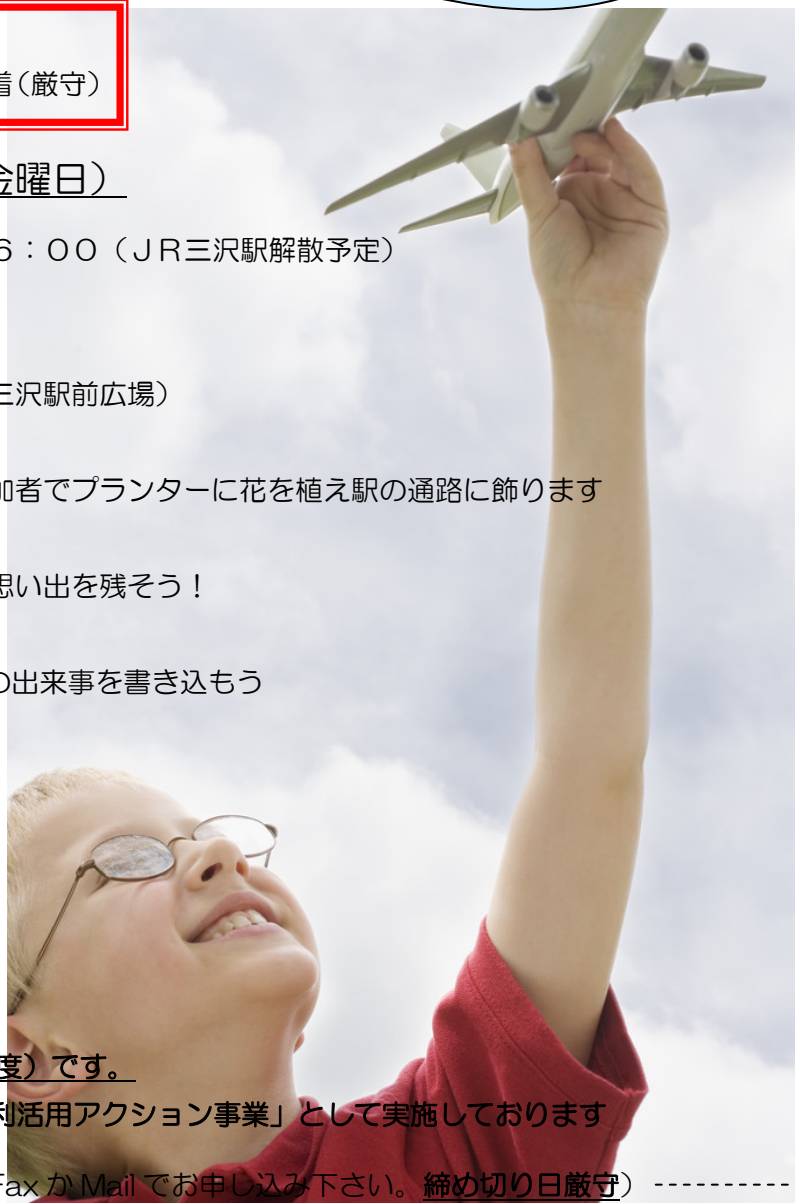
NPO法人マン・パワー

0Hnpo_mp01@yahoo.co.jp

定員になりしだい締め切ります。

★住所は正確に記入願います

三名以上参加希望の場合は、コピーして応募下さい。 Tel&FAX 0176-57-2322



第二章 事業実施状況

1. 実施日及び内容について

実施月日

平成21年9月18日（金曜日）

場 所

三沢駅周辺 及び 三沢基地

<本日の内容>

『シル！ミル！ふれる！ 飛行機の街 みさわ』
2009（平成21年）. 9. 18

<午前の部>

- 9：00～9：15 オープニングセレモニー
（三沢駅東口 広場）
NPO 法人マン・パワー理事長 あいさつ
日程確認と注意事項（配布物） 記念撮影
 - 9：20～9：40 フラダンス披露と体験レッスン
（薬師町内会 会館）
misawa アイランダース
 - 9：45～11：00 シル！ミル！ふれる！三沢駅
（三沢駅東口 広場）
駅をきれいにしよう&思い出を残そう \（・0・）/

各班2グループに分かれる

 - *前半グループ 花を植える
 - *後半グループ メモリアルカード作成
消しゴムスタンプ作り
 - 11：00～11：15 シル！ミル！三沢駅の今と昔
三沢駅前 かねた旅館
主 人 松橋 大典さん
- 11：20 バス乗車完了

<午後の部>

- シル！ミル！ふれる！ 航空自衛隊 三沢基地
11：40～13：00 昼 食（下士官クラブ）
アンケート記入等
- 13：10～14：10 広 報 館（各班2グループに）
- 14：20～15：00 F-2見学（整備 格納庫）
- 15：00～15：30 基地内見学（基地一周）
アンケート記入、提出
- 16：00 三沢駅解散



三沢駅集合

受付後、乗車券でお菓子の抽選会
マンパワーパスポートの配布とTシャツ配布



鉄道切符と引き替えにハッピーボックスのくじ引き（今期は、アメリカの駄菓子）

9:00～9:15 オープニングセレモニー



NPO 法人マン・パワー理事長挨拶

スタッフより内容説明と注意事項

■ フラダンス披露と体験レッスン (薬師町内会 会館)

インストラクターは、misawa アイランダース ニッキ先生とカルメン先生



本日のHULAを披露してもらいました



早速レッスン right and left !!!



参加者は、楽しそうにレッスン



「listen to the radio・・・」耳に手をあてる
参加者一同

レッスンは、もちろん英語です！



インストラクターから、「good job!」とほめて頂きました。
「マハロ～（ありがとう）」

■ シル！ミル！ふれる！三沢駅

★駅をきれいにしよう&思い出を残そう \ (・0・) /

*前半グループ 花を植える





いつも三沢駅を利用して、通路が「寂しいと思っていたんです」と参加者の方からの声でした。「お水あげにきます」と・・・名久井農業高校の生徒さんが、率先して花を植えてくれました。参加者全員のチームワークは素晴らしかった！

花を植えながらも、ハワイアンミュージックを口ずさんだり、復習している参加者もいるほど、HULA体験が楽しかったようです。



駅の通路風景

*後半グループ 消しゴムスタンプ作り



無心にスタンプ作りに取り組む参加者



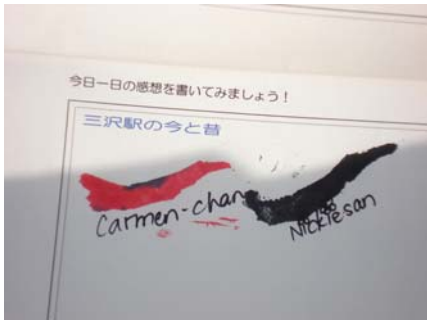
HULA を披露してくれたニッキーとカルメンもスタンプ作りに参加！

作り方をみんなで必死に、英語で説明していました。参加者にとっても良い体験となりました。

できあがったスタンプをそれぞれパスポートに、スタンプしていました。(スタンプ交換会)



スタンプすると、反転することを忘れて作ったので、名前が反対に・・・
しかし、みんなが欲しいほどの人気スタンプに！



自作のイラストをスタンプにした参加者もいました

■ シル！ミル！三沢駅の今と昔
三沢駅前 かねた旅館 主人 松橋 大典さん



親しみ深い南部弁でお話しして頂き、参加者も時折うなずいたり、笑ったりして松橋さんが幼少の頃から見てきた三沢駅のお話をして頂きました。

『駐車場だった頃は、商業の中心地でもっと活気があった。』と懐かしそうに話す松橋さんの南部弁は、大変興味のあるものでした。



名久井農業高校の生徒さんが、授業で作ったクッキー試作を外国人の方に、味や食感などを評価頂きたいということで、HULAのお二人にご協力頂きました。評価を横でメモする高校生達 外国人の方にも好評の味だったようです。

11:20 バス乗車完了



■ シル！ミル！ふれる！ 航空自衛隊 三沢基地

三沢基地内では、写真撮影禁止区域のため、格納庫と戦闘機見学の写真はありません。

11:40～13:00 昼食（下士官クラブ）



食文化体験・・・ブロッコリーを生で食べる習慣のない私たちは、サラダに驚き！

（高校生の声）

量の多さにびっくりしました。（50歳代女性の声）

フォークやナイフをこのように使うことがなかったので勉強になりました。

（高校生の声）

食事の終わった方から、コーヒーを飲みながらアンケート記入と思い出パッチワークのメッセージカードの記入をしました。

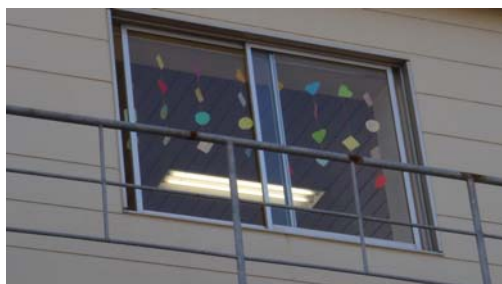


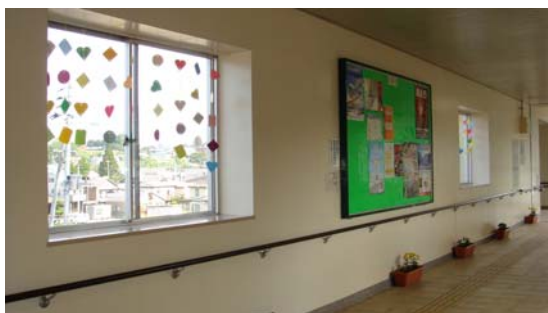
アンケート記入をする参加者

メッセージカード

イベント1週間後の様子

メッセージカードは、駅通路の窓につるしカラフルに彩られました。





イベントで植栽したお花と
思い出パッチワーク



駅利用者がメッセージカードを手に取り
読む姿もみられました。

駅構内が大変明るくなり、きれいになりました。「駅を利用するのが楽しみになった」の声も！

・ 広 報 館 (各班2グループに)



アメリカのお菓子や飲物を販売しているお店を見学
桁違いのお菓子の袋の大きさには、驚くばかり
日本円も使用できます。

広報館では、自衛官からの説明の後、展示してある戦闘機に乗りパイロット気分を味わいま
した。「初めての体験で、ワクワクしています」(50歳代男性の声)



歴史も学び、飛行機のことについても学び、初めての体験に一同感動していました



14:20～15:00 F-2見学（整備 格納庫）

参加者から熱心な質問がたくさん出ていました。

格納庫では、整備中の戦闘機があり、鳥などがよく羽にはさまることがあり、大きな事故にもつながる恐れがあることを知り、驚きました。（60歳代女性）

近くで見ると大変大きいですね。この鉄のかたまりが空を飛ぶとは、ホント不思議ですね（70歳代女性）

燃料は、どれくらいかかるのですか？（小学生の質問）・・・等々

15:00～15:30 基地内見学（基地一周）



フレンドパークにて、参加者全員で写真撮影

三沢駅 解散



第三章 事業の検証

1) アンケート調査及び結果

参加者32名、回答者数32名

1 居住地 ① 市 八戸市・三沢市・二戸市・久慈市・青森市など
② 町 南部町

2 年 齢 ① 14歳以下 2名 (小学生1名、中学生1名)
② 15～35歳 13名
③ 36～55歳 6名
④ 56～75歳 11名

3 イベントをどこでお知りになりましたか。

知 人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30%

新聞折り込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10%

その他 (先生、パソコン) ・・・・・・・・・・・・ 60%

今回は、名久井農業高校の生徒の参加により、その他の回答が多くなった。

4 興味を持ったもの。楽しかったものは何ですか。(重複回答あり。上位二位までを掲載)

フラレッサン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90% (全体の)

基地レストラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80% (全体の)

5 今後参加してみたいイベントがあればご記入下さい。

フラダンスをもう一度 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 70%

航空祭に来たいと思っています。・・・・・・・・ 10%

アメリカ人と交流できるイベント・・・・・・・・ 10%

自衛隊員と一緒にマラソン ・・・・・・・・・・・・ 5%

三沢で行われる祭りがあれば、参加してみたい。・・・ 5%

6 今回のイベント全体に関する感想をご記入下さい。(原文のまま)

- ・三沢駅をよく利用しますが、県外へ出かけ三沢に帰ってくると、いつも殺風景だなと寂しく思っていたが、今回のイベントで鉢植えを作り駅通路に飾ったことで、少しでもきれいなポイントになり、良かったです。
- ・私の中では、今日一番フラレッサンが楽しかったです。お料理もとてもおいしかったです
- ・行事の広告をもっとやって欲しい
- ・三沢駅の今昔物語初めて聞きました。

- ・初めてのフラダンスでしたが、とても楽しく体験できました。学校に戻ったら友達に教えたいと思います。
- ・昼食も普段とは違う物が多くて、食べるのが少し大変でした。今回のイベントで三沢のことを知ることができた。また、フラダンスなどで楽しむことが出来て良かったです。
- ・駅からのハイキングコース設定もおもしろいかも
- ・スタンプなどの作成が楽しかった。
- ・ベースの方が、もっとたくさん参加してもらえれば、国際交流という感じがもてたと思う。
- ・一日だけのイベントで、こんなにいろいろなことが出来るなんて思ってもいませんでした。とても楽しい一日をありがとうございました。
- ・もう一度参加してみたい
- ・今回のイベントで、米軍基地の雰囲気を知ることができました。
- ・青い森鉄道線になっても実施して欲しい。基地内での食事は、非常に良かった
- ・土日に実施できるともっと参加者がいると思います。
- ・広報館が、結構おもしろかったです。あまり飛行機に興味がなかったけど、すごくわかりやすい説明で、全然つまらなくなかった。今回はとても良い勉強になりました。参加して良かったです。

第四章 今回の事業をふまえた展開

今後の課題及び検討事項について

1. 基地入門に関して

- ・ツアー（不特定多数・募集等）のような団体には、申請しても米軍側・日本側（航空自衛隊）とも許可にならない。
- ・特定の団体及び企業に、基地入門や見学等の件で、利益が生じる場合は許可にならない。

2. 広告、宣伝方法について

今回は、日程の都合により宣伝期間が短かったが、準備期間に余裕があればマスコミを有効活用すべき

3. 今後の展開

- ①「みさわ」をキーワードとして考えた場合の三沢市既存のイベントと鉄道をつないだ事業が考えられます。

〈既存イベント例〉

- ・ハロウィンフェスタ
- ・アメリカンデー・・・基地内行きのバスがあり、乗車のまま1周出来る。

- ・フライデーツアー・・・米軍と三沢市の友好関係で、唯一入門パスが無くても基地内に入れるツアー。席に限りがあり、米軍の都合で中止になることもある。
- ・三沢基地航空祭
- ・ミス・ビードルカップ紙飛行機大会

既存イベントにプラスまたはそれ以外の、国際交流を考えるならば、みさわ国際交流協会等の支援を受け、事業を展開できると考えます。
(三沢市国際交流教育センター（宿泊施設、調理室、会議室あり）にて実施可能。)

②食についての事業が考えられます。

三沢基地周辺には、メキシカン・ハワイアン・インド・フィリピン・タイ料理のお店があるので、これらを活用したグルメツアーも興味深いところです。

③その他の事業展開

JR 等でも実施しているスタンプラリーや、当法人が実施している三沢市内での自然体験や陶芸教室を組み込んだツアーも考えられるほか、三沢市だけではなく、十和田市、六戸町、おいらせ町と協力し合い、広域で事業を展開してみるのもおもしろいのではないかと考えます。

また、実現可能かどうかわかりませんが、東京・恵比寿駅にあったようなトレインレストランのようなものや、ミステリートレイン（寺山修司のイメージから）を恐山まで走らせるなどの事業展開もあるのではないのでしょうか。

しかしながら一過性のイベントばかりでの乗車率アップを図るのではなく、日常での鉄道利用者の増加を図る必要もあると考えます。

そのためには、三沢市内と駅を結ぶ公共交通の利便性、鉄道を利用したことによる“お得感”特典付きなど、生活に密着した特典などがあると利用しやすいのではないのでしょうか。

いずれにしても、事業企画を実施するためには、観光協会、商工会、商工会議所、市町村役場などの協力も不可欠だと考えます。

最後に、今回参加した各NPOの団体の方から学ぶことが多く、今後とも連携をとり、様々な活動に参加したいと思いました。

私たちは、通勤や通学だけではなく“青い森鉄道って楽しいよね”と思ってもらえる、マイレール意識向上とボランティア精神を育成し、地域の活性化を継続して行っていきたいと考えております。

passport



<参加者の皆さんへのお願い>

- 本日の行動については、すべてスタッフの指示に従ってください。
また、事情により急遽予定が変更になる場合もございますが、なにとぞ皆様のご理解とご協力をお願い致します。
- 三沢基地内は、米軍の軍事施設です。
 1. くれぐれも自分勝手な行動をとらないようにして下さい。
 2. 備品等にも手を触れないようお願い致します。

何かありましたら、お気軽にスタッフにお申し出下さい。

(特に、お手洗い等)

『シル！ミル！ふれる！ 飛行機の街 みさわ』

2009 (平成21年). 9. 18

<午前の部>

- 9:00～9:15 オープニングセレモニー

(三沢駅東口 広場)

NPO 法人マン・パワー理事長 あいさつ

日程確認と注意事項 (配布物)

記念撮影

- 9:20～9:40 フラダンス披露と体験レッスン

(薬師町内会 会館)

misawa アイランダース

- 9:45～11:00 シル！ミル！ふれる！三沢駅

(三沢駅東口 広場)

駅をきれいにしよう&思い出を残そう \ (・O・) /

各班2グループに分かれる

- *前半グループ 花を植える
- *後半グループ メモリアルカード作成
消しゴムスタンプ作り

- 11:00～11:15 シル！ミル！三沢駅の今と昔

三沢駅前 かねた旅館 主人 松橋 大典 さん

- 11:20 バス乗車完了

1

<午後の部>

- シル！ミル！ふれる！ 航空自衛隊 三沢基地

11:40～13:00 昼食 (下士官クラブ)

アンケート記入等

13:10～14:10 広報館 (各班2グループに)

14:20～15:00 F-2見学 (整備 格納庫)

15:00～15:30 基地内見学 (基地一周)

アンケート記入、提出

16:00 三沢駅解散

2

今日一日の感想を書いてみましょう！

フラダンス体験

花植え体験

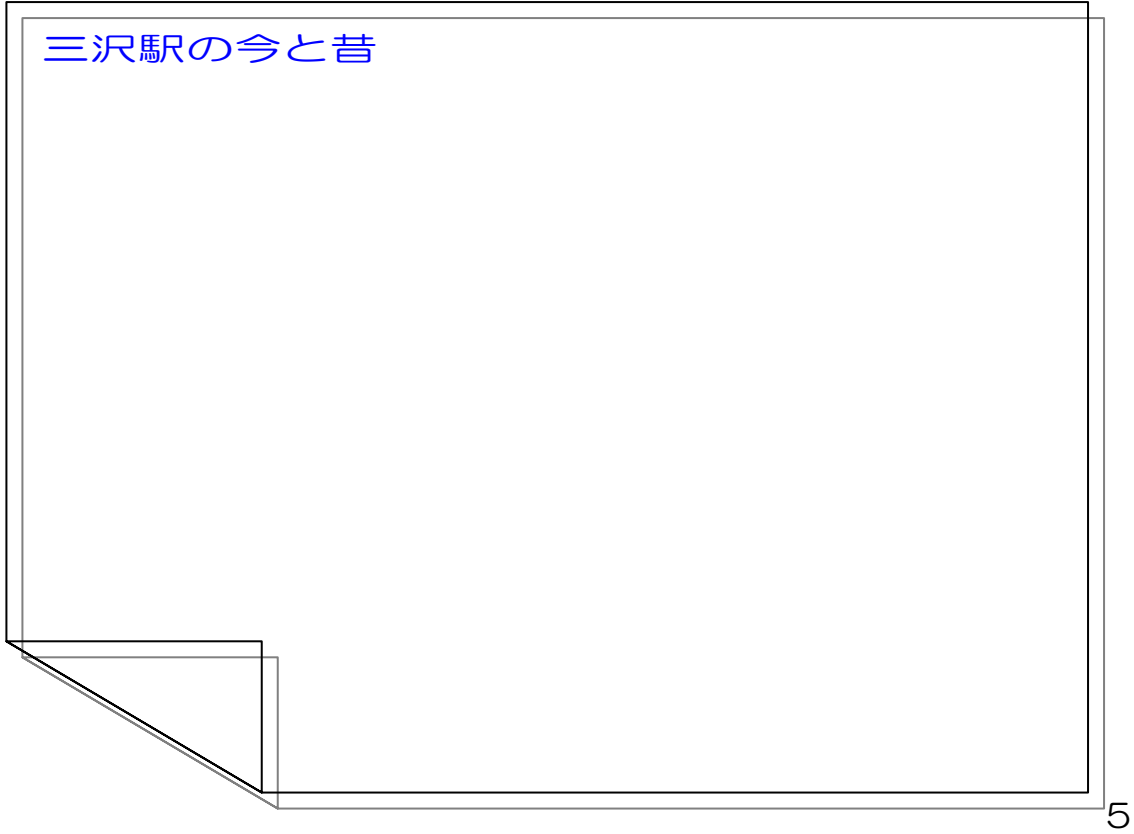
3

みんなのスタンプを集めてみよう

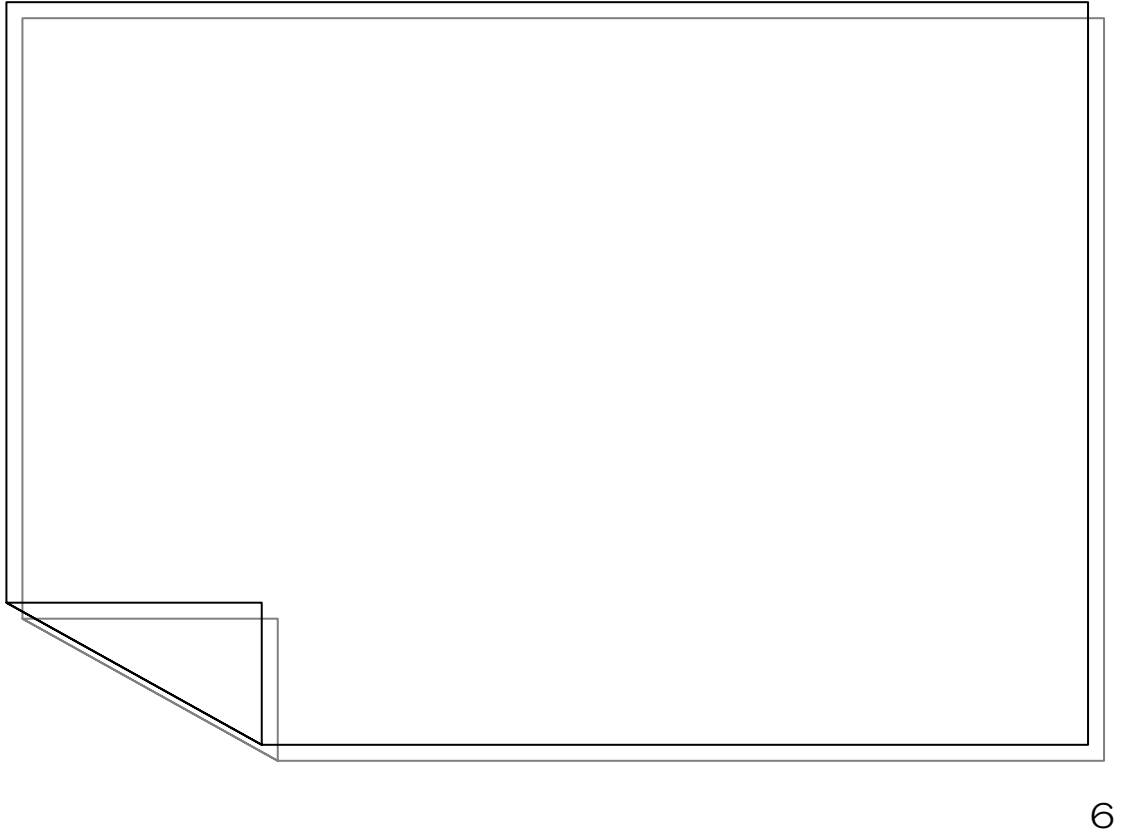
4

今日一日の感想を書いてみましょう！

三沢駅の今と昔



5



6

大空への挑戦

男たちは次々とやってきた。北国の広漠とした砂浜に。そして、たったひとつのエンジンにすべてを託して、彼等は濃霧と寒気の北太平洋を越えるべく敢然として離陸していった。ある者は青年らしい覇気の故に、ある者は莫大な懸賞金をめあてに、そしてあるいは国家の威信のために、男たちは命を賭けて太平洋の空に挑戦した。（「高くゆっくりと真っすぐに飛べ」の帯書より）

Challenge to the Great sky

Adventurers came to the desolate beach in the northernmost part of Japan proper.

They all bravely took off to cross the North Pacific Ocean through a heavy cold fog upon entrusting their lives to a tiny single engine.

Some aviators challenged this flight to prove their young ambitious spirit, some did it for a colossal prize money and still others did it for their national prestige.

Men of adventure challenged the great sky over the Pacific Ocean at the risk of their lives.



■ 津代海岸での滑走路造り
Building a Runway on Sabishiro Coast

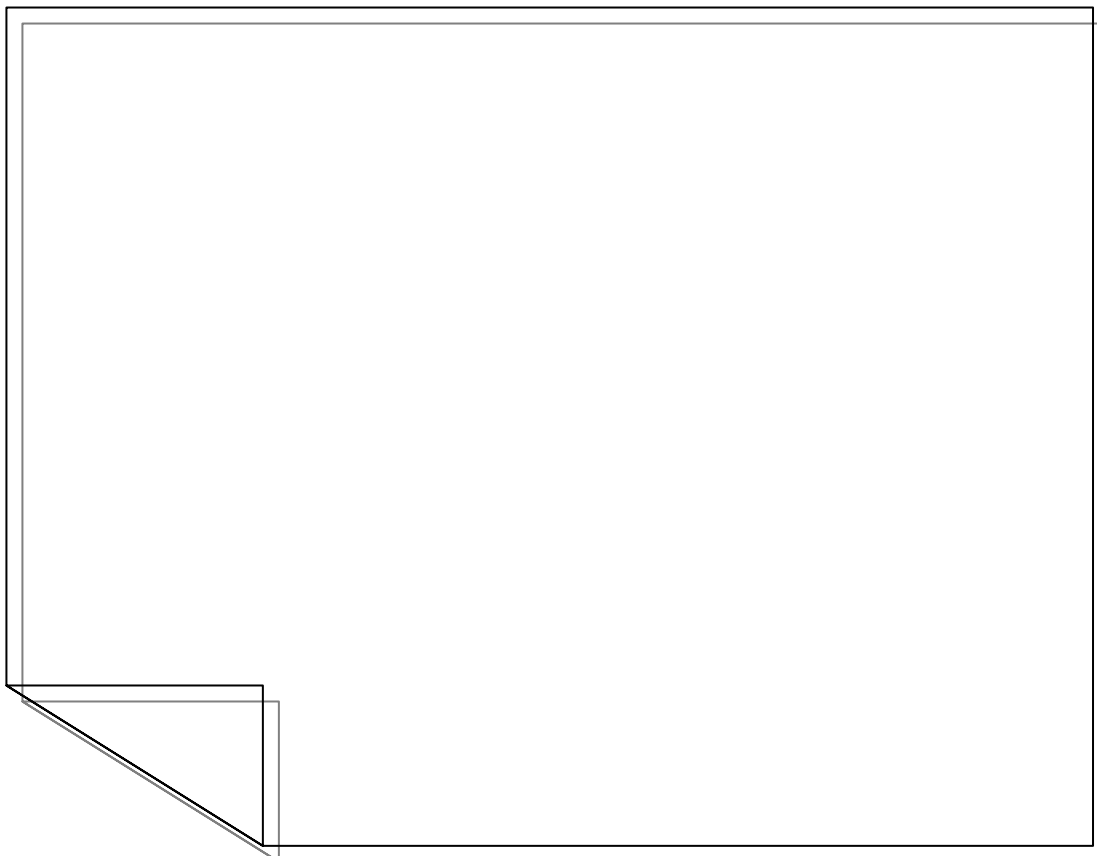


■ ウェナッチ市に胴体着陸
Bellylanding at Wenatchee City



■ 三沢を飛び立つミス・ヴィードル号
Miss Veedol awaiting take off from Misawa

三沢市広報冊子から引用



Did you enjoy?
Thank you for coming!

おつかれさまでした



21.9.18 実施

SPECIAL ONE DAY IN MISAWA アンケート

○で囲ってください。
5,6は **ご記入** ください。

1 居住地

①市 ②町 ③村

2 年齢

①15～25歳 ②26～35歳 ③36～45歳

④46～55歳 ⑤56～60歳 ⑥61～65歳

⑦66～70歳 ⑧71～75歳

3 このイベントをどこでお知りになりましたか。

①駅 ②新聞折り込み ③知人 ④その他 ()

4 興味を持ったもの。楽しかったものは何ですか。

①フラレックス ②基地ラストラン ③広報館

④基地売店 ⑤F-2見学 ⑥基地一周

⑦その他 ()

5 今後参加してみたいイベントがあればご記入ください。

6 今回のイベント全体についての感想をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。